

県内業界から見る【後継者（事業承継）について】について

石川県中小企業団体中央会

<調査対象>

◎調査期間：平成29年6月下旬～平成29年7月上旬

◎調査対象：当会情報連絡員（業界組合）58団体

【回答 46団体 ・製造業：31団体中25団体
・非製造業：27団体中21団体】

<結果のポイント>

(1) 後継者（事業承継）について

経営者の高齢化が進展しており、特に小規模事業者では後継者不足や高齢を理由に廃業する事業者もあり、事業承継について課題に挙げる事業者も多いと聞かれる。そこで、現在の県内中小企業者における後継者（事業承継）の状況を把握するため、業界組合に聞いてみたところ、次の通りであった。

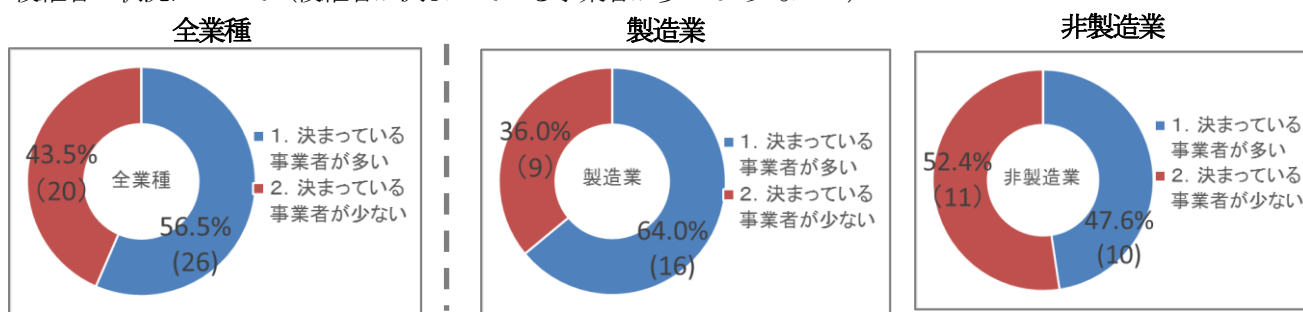
○全業種では、経営を任せる後継者について「**決まっている事業者が多い**」（56.5%）との回答が「**決まっている事業者が少ない**」（43.5%）よりも多い回答結果となった。業種別でみると、製造業においては、「**決まっている事業者が多い**」（64.0%）の割合が高く、非製造業では、「**決まっている事業者が少ない**」（52.4%）の割合が高い結果であった。後継者候補は大半が**息子・娘**もしくは**その他の親族**との回答で、決まっていない事業所の理由としては、**廃業の意思がある**や**会社の経営状況**と**後継者候補が未承諾**や**息子・娘がいない**といった事情によるものが多かった。よって、事業承継を円滑に進めるには会社の経営状況の改善や第三者への事業継続先を探すなどの支援が求められていると考えられる。

(2) 業種別詳細

○製造業においては、「**決まっている事業者が多い**」と回答したのは、**一般機械器具製造業**や**鉄鋼・金属製品製造業**が多く、他に**出版・印刷業**、**プラスチック製品製造業**、**生コンクリート製造業**、**砂利販売業**などで回答があった。また、「**決まっている事業者が少ない**」と回答したのは、**繊維同製品製造業**、**木材・木製品製造業**、**伝統産業に関する業種の漆器製造業**や**陶磁器製造業**、**箔製造業**などで回答があった。同時に調査しているDI調査の結果も踏まえれば、ここ数年の経営状況により、傾向が分かれていると考えられる。

○非製造業においては、「**決まっている事業者が少ない**」と回答したのは、**各地の商店街や各種小売業**が多く、他に**一部の卸売業**でも回答があった。また、「**決まっている事業者が多い**」と回答したのは、**運送業**、**建設業**、**旅館ホテル業**で多かった。こちらも製造業と同様に経営状況で傾向が分かれており、また、小規模企業ほど決まっていない傾向が伺える。

■後継者の状況について（後継者が決まっている事業者が多い or 少ない?）



■上記質問で「決まっている事業者が多い」と回答した方への質問（複数回答）

Q. 後継者はどのような方ですか？

製造業		非製造業	
息子・娘	15	息子・娘	10
その他親族	4	その他親族	7
親族以外の役員	3	親族以外の役員	2
社外の第三者	1	社外の第三者	0

■上記質問で「決まっている事業者が少ない」と回答した方への質問（複数回答）

Q. どのようなことが課題（障害）となっていますか？

製造業		非製造業	
廃業の意思がある（後継者に継がせたくない）	7	廃業の意思がある（後継者に継がせたくない）	7
会社の経営状況	6	後継者候補が未承諾（後継者が継ぐ意思がない）	7
後継者候補が未承諾（後継者が継ぐ意思がない）	5	息子・娘がいない	5
経営者の個人保証	1	会社の経営状況	4
息子・娘がいない	1	経営者の個人保証	2